

風はPLCから



鹿児島大学教職大学院、5年目となる今年度は19名の院生で、日々、理論と実践の往還を目指して学びを深めています。本通信の題名にある「PLC」とは、「Professional Learning Community」の略で、「専門的な学習共同体」を表しています。教師という専門家として、「語り」「探究」を大切にしたコミュニティーメンバーでありたい、このような考えをもち、学校に籍を置く現職教員と学部新卒生のストレートマスター（ストマス）が一緒になり学んでいます。

令和3年度の第1号では、教職大学院の4～8月までの前期課程（第1・2ターム）の講義を紹介します。教職大学院でどのようなことを学んでいるのかをご覧ください。

共通科目

教育課程の編成・実施、生徒指導・教育相談、学級・学校経営、学校教育と教員のあり方に関する領域があります。

学校を基盤とするカリキュラム開発

カリキュラム・マネジメント及び、カリキュラム・リーダーシップについて、実践的に学ぶ講座です。実際の学校のカリキュラム開発についてレポートにまとめ、発表会を行いました。南木純一（鹿児島市立南中学校）

教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善

自らの関心に沿った文献調査を行い、授業で学んできたトピックを選んで単元開発を行い、成果発表を行います。単元構成の意図やねらいについて考えることができました。甲野貴之（ストマス）

学級経営の実践と課題

学級経営案作成やインシデントプロセス法など、学校で活用できることを実体験で学びます。学校全体とのつながりを意識した組織の一員としてのあり方を見直しました。梁瀬加那子（鹿児島市立吉野東小学校）

インクルーシブ教育における教師の専門性

インクルーシブ教育やその研修の在り方を考え、インクルーシブ教育における教師の専門性の向上について学びを深めます。特別支援学校の研修に参加することもあります。松本悠未（鹿屋高等学校）

実習科目

特別支援教育開発実践実習Ⅰ・特別支援教育高度化実践実習Ⅰ

特別支援教育で重要な保護者支援に関する知識と技能について実習を通して学びます。また、実際の授業計画や授業実践を通して特別支援教育の意義と理解を深めることができました。山下八代美（武岡台養護学校）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 時間 |
|---|---|---|---------------|--------------------------------|---------------|--|
| 1 | | 学校教育におけるデータ分析とその活用 | 集中講義 | 学級経営の実践と課題 | 学校の安全・安心と危機管理 | ① 8:50 ～10:20 |
| 2 | | 教材研究・指導方法・評価に関する実践的課題とその改善 | 学校教育の役割と教師の成長 | | | ② 10:30 ～12:00 |
| 3 | | 附属小学校での実習 教科や組織について学びます。 担当の先生と連絡調整して進めていきます。 | | 授業研究の理論と実践 学校を基盤とするカリキュラム開発 | | ③ 12:50 ～14:20 ④ 14:30 ～16:00 |
| 4 | | | | 教職課題研究Ⅰ | 国語科指導法の省察と開発 | ⑤ 16:10 ～17:40 |

図 ある院生の1週間の時間割

学校教育の役割と教師の成長

教師の役割や自分が持つ教師としての「観」について文献を基に再構築していきます。院生が中心に講義内容を設計し、ファシリテートを行います。グループ討議も多いです。濱田圭真（ストマス）

特別支援教育とカリキュラム・マネジメント

学習指導要領、関係法規、特別支援学校におけるカリキュラム・マネジメントを学び、授業づくりのPDCAサイクルの理解が深まります。授業研究は講義と演習を通して学びます。川田真帆（始良市立帖佐小学校）

高度化実践実習Ⅰ

「教育実習」とは違い、自分の学びたいことを基にした実習となっています。基本的に、ストマスは教科について、現職の方は学校経営について学んでいきました。奥野真輔（ストマス）

省察科目

学校教育におけるデータ分析とその活用

学校教育において研究を進めるにあたって、分析の対象は質的なデータになることが多いため、質的データ分析について学ぶことができます。また、「学習」という営みを心理学や哲学の歴史から読み解き、「教育観」が広がる授業でした。
久富祐（ストマス）

選択科目

教科教育（教授—学習）研究、学校研究、特別支援教育の3つのプログラムがあります。

学校の安全・安心と危機管理

学校安全・危機管理と心の健康管理に関する知識や対処法について見識を深めています。学校危機への対応や安全・安心の増進を組織的に推進していく必要性と方策を学びました。
竹下佳吾（日置市立日吉学園）

学校づくりと教師

教育とはどのような営みか、教育の本質は何かを考え続ける講義です。学年や経験年数を問わず、本音で深い議論を行えます。受講して自分の価値観が大きく変わりました。
村谷薫（ストマス）

知的・発達障害指導法

知的・発達障害のある子供たちの行動上の問題にアプローチするための技法として、応用行動分析を学びます。テキストを基本として現場での具体例なども参考にしながら応用行動分析の理論と使用の具体について考えていきました。
永仮広大（ストマス）

小学校教員免許状取得プログラム

中学校・高校教員免許状取得者が、小学校教員免許状を取得するため、修業年数3年のプログラムです。（小免プログラム）

道徳教育論

道徳教育の歴史や理論から実践の模擬授業まで幅広く学べます。院生の立場から大学生の方々の模擬授業を拝見すると、また新たな視点や考え方の発見がありました。
吉田昂史（ストマス）

現職教員・ストマス・小免プログラム、それぞれが大きな学びを得た前期課程でした。それぞれの立場から、前期を終えて感じたことをまとめてみました。

教育理論について深く考えられます。教職大学院で広がった自分の考えを、早く実践で生かしたいです。

現職 太田

今もっている知識を更に深めることができていることを実感しています。

ストマス 奥野

小学校免許と院の勉強を同時に進めることで、広い視点から学習を深めることができています。

小免 吉田

発行 広報部

教職課題研究 I

各自が受講している科目を省察し、大学院での探究課題を設定します。年度末には1年次の研究成果を発表・検討し、次年度に向けて探究課題の展開を行います。

太田亮（鹿児島中央高校）

社会科・地理歴史科指導法の省察と開発

社会科教育に関する論文を読み、教授と院生で内容について話し合います。検証授業に向けて様々な手法や手立てを学び、実践に活かすことができました。

有村昇起（ストマス）

授業研究の理論と実践

授業観察・授業分析等の方法や事例について学んだ後、授業研究会の実践・省察を行います。授業研究が、チーム体制構築のための中核的な取組みであることを実感する講義でした。入江有希（鹿児島市立長田中学校）

心身障害科学

心身の障害全般について基礎的知識を習得し、障害への理解を深めていく講義です。院生は各障害の特性や支援方法をプレゼンし、議論をしながら障害への理解を深めていきました。
中野佑香（ストマス）

国語科教育 I

話すこと、読むこと、書くことの定番教材を対象として、指導案の作成及び指導方法について考察したり、グループ討論を行い分析を行ったりして、国語科教育に関する学びを深めることができました。

神窪愛（ストマス）

生活科教育

講義と実践動画の省察を中心に生活科で養うべき資質能力について理解するだけでなく、学生同士による討論を繰り返すことでより具体的に生活科の内容について考えを深めていきました。久木野留奈（ストマス）